

イメージ違う高校生活

今年、高校に入学した娘ですが、今まで思い描いていた高校とは全く違うので、進路を変更したいというのです。震災の影響で、スムーズに新生活がスタートしなかったことも理由かもしれませんが…。これから専門学校で勉強して好きな職業に就きたいと言っているのですが…。(浜通り・母親)

持って入学したわけですから本人の考えだからと退学を急ぐ必要はありません。

理由として考えられることは、地震、津波、原発事故による大混乱の中での新学期スタート、親しい友との別れ、他校の空き教室を使うサテライト方式という授業など、環境の急激な変化に、友との安らぎの場と時間もなく、一人悶々としている中で生き方の転換を考えたくもありません。

三月十一日以降、大人も子どもも、今まで経験したこともない試練に立たされ

回答者

学校支援ボランティアの会
ダイヤルこだま・いわき会長

塩 正守

迷いや苦しみ
やがて思い出

中学時代、本人の適性と能力などを中心に、家族と担任との三者相談を重ね、志望高校を決定したはずで、何がネックになって進路を変更したいのかははっきりしませんが、目的意識を

ていると思います。この未曾有の災害をどのように乗り切っていくか。この時の生き方が不撓不屈の精神となり、人間愛を育てていくのではないのでしょうか。

若い時の迷い、苦しみは強く生きていく糧になります。苦しさの中の高校生活は思い出深いものになるかもしれません。